

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター佐賀中央



○事業所名	COMPASS発達支援センター佐賀中央		
○保護者評価実施期間	令和7年 9 月 10 日	～	令和7年 9 月 26 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年 9 月 5 日	～	令和7年 9 月 16 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10 月 17 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	多くの職種が在籍しており、さまざまな分野からの支援が可能な体制となっております。	朝礼や月に一度の会議の際には、支援計画をもとに全職種で情報共有をおこない、児童一人ひとりに対して統一した支援ができるよう努めております。	午前中や児童の利用がない時間帯を活用し、職員間で専門的な知識の共有をおこなうことで、支援に対する意識の統一を図っております。
3	小学校や事業所において担当者会議を実施し、小学校の先生や保護者様と密に情報共有を行うことで、児童への統一した支援が行えるよう努めております。	対象児童の担当者会議の前後には、職員間での情報共有も徹底し、支援の方向性にずれがないよう工夫しております。	現在は児童発達支援管理責任者のみが会議に参加しておりますが、今後はさまざまな職種の職員が参加することで、より専門的かつ多角的な視点での話し合いができるようにしてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、言語聴覚士の資格を持つ職員が在籍していないため、言語面への専門的なアプローチについては課題を感じております。	保育士や作業療法士を中心として職員全体で勉強会を実施し、専門分野に関する知識の向上に努めております。	全国の事業所の中には言語聴覚士が在籍しているところもあるため、月1回の会議において、言語聴覚士の視点から必要なアプローチや評価方法を共有し、職員全体のスキルアップを図ってまいります。
2			
3			



公表日：令和 8 年 3 月 26 日